

一般社団法人全日本機密文書裁断協会 第七期（2020年度）事業報告

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大（以下、コロナ禍という。）により、人の交流や移動に制限される中、社員総会・研修勉強会をはじめ、当初計画していた各事業内容もその影響を受けましたが、理事会を中心に各委員会の会議体をリモート方式に移行し、その状況に応じた会の運営に努めました。

本会の目的である機密文書の漏えい防止及び、紙の再資源化の必要性を訴求するため、各種事業展開を図って参りました。会の知名度向上および市場へ裁断サービスの普及推進のため、広報委員会を中心に本会ホームページの改修として、[ランディングページの開設][モバイルサイトの改修]並びに「地域密着！もっと会社にクローズアップ」をテーマにした「会員企業によるブログ（2巡目）」、1巡目の会員ブログを活用した会員各社の「裁断事業紹介ページの設置」、「協会オフィシャルバナー作成」等に取り組み、コンテンツ強化を図りました。

業務品質向上委員会では、機密文書裁断抹消処理士（以下、抹消処理士という。）「ランクアップ制度」の制定をはじめ、本会ホームページでは、「抹消処理士・ランクアップ制度専用ページの開設」、「抹消処理士バナー及びマークの作成」、「抹消処理士認定証申請フォームの設置」、「抹消処理士のリーフレットデータ作成」等の事業展開を図り、本会の業務品質向上に対する取り組みについて、協会内外に訴求いたしました。

また、研修勉強会はコロナ禍により、当初計画していたグループディスカッションから内容を変更し、本会初となるWeb配信により開催をいたしました。Web配信では、広報委員会と業務品質向上委員会より、今年度取り組んできた事業展開についての報告事項並びにWebセミナー講演として、オプティマ・ソリューションズ株式会社 生方淳一氏による「新型コロナウイルス時代に改めて紙管理の重要性を問う」をテーマに会員・関係者を含め86名が参加、新たな情報を共有し今後の事業展開につなげていく機会となりました。

ブロック活動助成金制度では、コロナ禍により各地域ブロック会の活動制限の中、協会オリジナルポロシャツ・地域展示会用のウインドブレーカーや販促用のチラシ入り不織布マスク・リサイクルトイレットペーパー等が配布され、各ブロック内の連携強化を図りました。

【会員の異動数】

区分	会員		増減
	2020年4月	2021年4月現在	
正会員	64社	61社	-3社
賛助会員	7社	8社	1社
合計	71社	69社	-2社

入会企業：＜賛助会員＞ 株式会社ワラケン（2020年9月）

退会企業：＜正会員＞ 株式会社テーリング（2020年9月）

退会企業：＜正会員＞ マツダ株式会社（2021年2月）

退会企業：＜正会員＞ 株式会社関東ロジスティックス（2021年3月）

1. 裁断業務の品質対策

(1) 定例研修勉強会の実施

2021年2月5日(金) 本会初めての試みとなるWeb配信のZoomシステムを活用し、「全日本機密文書裁断協会 研修勉強会」を開催しました。Web配信による開催は、より多くのご担当者に参加いただきやすい環境・時間帯を選定し、関係者を含む総勢86名にエントリーをいただき、広報委員会より「協会ホームページ・バナーリンク設置のお願い」、業務品質向上委員会より「機密文書裁断抹消処理士ランクアップ制度について」の説明が行われ、情報を共有しました。引き続き、Webセミナー講演として、オプティマ・ソリューションズ株式会社 生方淳一様による「新型コロナ時代に改めて紙の重要性を問う」をテーマに新たな情報を共有し、今後の事業展開につなげていく機会になりました。

Web配信について、会員各位のアンケートでは「初めてのZoom受講でしたが良かった」・「会場への移動時間がなく時間が有効に使えて良かった」や「会員皆様のお顔を拝見できないのは寂しいですが、Webセミナーは参加しやすいです」等、様々なお声を頂戴しました。来期以降の研修勉強会も、頂戴したご意見を参考にし、コロナ禍の状況に応じた内容で検討して参ります。Web配信の動画や、講演資料は、協会ホームページの会員専用ページで公開しています。

【研修勉強会会議開催日】

2020年9月17日 リモート会議

2020年10月15日 リモート会議

2020年11月24日 リモート会議

(2) 表彰制度

当会員より推薦された下記会員企業を、会の発展に寄与した企業および、社会貢献活動に取り組んでいる企業であると理事会で認め表彰します。

【表彰対象者】

表彰対象者名(企業名)	表彰理由
株式会社シマダ様	貴社は、長きにわたり富山県下において、取引先を拡大されるとともに、機密文書裁断事業の発展・成長につなげてこられた功績があらわれる
近畿産業株式会社様	故 傍島真様におかれましては、長きにわたり当会監事を務めていただき、当会の発展に寄与された また、貴社は近畿ブロック会にも積極的に参加され、機密文書裁断事業の発展・成長に大きく貢献された
三和商工株式会社様	貴社は、製紙会社が集積する溶解処理が主流の静岡県東部地域において、機密文書裁断事業を開始され、そのパイオニア精神は称賛に値するとともに、長きにわたり静岡県下唯一の事業者として機密文書裁断事業の認知と拡大に努めてこられた
北清商事株式会社様	貴社は、小口回収等を始めきめ細やかな対応により、全国トップクラスの機密文書裁断サービスの実績を有し、エコポリスパンを含む全車両にAEDを搭載するとともに、全社員が救命講習修了証を取得するなど、機密を守る・人命を守る活動で地域社会に大きく貢献された

(3) 機密文書裁断抹消処理士認証制度

業務品質向上委員会では、本会で認定しております「裁断抹消処理士」について、会員各位が積み上げてきた「技術」と「品質」の維持向上を目的に「ランクアップ制度」を制定し、2020年10月1日の運用開始とともに、全会員企業に案内を行いました。また、本制度運用開始を記念し、「アニバーサリーマイスター」の認定を行うとともに、研修勉強会のWeb配信では、本制度の説明を行いました。本会の抹消処理士認証制度の認知度向上と更なる普及を目指し、本会ホー

ムページに「抹消処理士のページ」・「抹消処理士バナー交付ページ」を新設、「抹消処理士のリーフレット」を作成、会員各位の利便性向上のため、「抹消処理士交付申請フォーム」を設置しました。今後も全会員事業者による「機密文書裁断抹消処理士」のブランド化確立を目標に、当委員会の運営に努めて参ります。

【業務品質向上委員会開催日】

2020年8月18日 リモート会議
 2020年9月14日 リモート会議
 2020年10月20日 リモート会議
 2020年12月7日 リモート会議
 2021年2月18日 リモート会議

【アニバーサリーマイスター認定者】

会員企業名	認定者
秋田協同清掃株式会社	長谷川 誠 様
丸新輸送株式会社	川内 成人 様
河内運輸株式会社	宮田 貞男 様
株式会社アサヒ・クリーン	吉野 雅人 様
株式会社全日本医療サービス	遠藤 潤 様
株式会社タツノ	浦澤 剛 様
株式会社ケア・イノベーション	梅林 洋光 様
株式会社磯野商店	磯野 裕昭 様
株式会社環境整備産業	清家 伸郎 様
日本資源流通株式会社	渡邊 直弘 様

(4) 会員企業間の連携強化

本年度のブロック活動助成金制度では、コロナ禍により各地域のブロック会の活動制限の中、協会オリジナルポロシャツ・協会オリジナルステッカー・地域展示会用のウインドブレーカーや販促用のチラシ入り不織布マスク・リサイクルトイレットペーパー等が配布され、各ブロック内の連携強化を図りました。今後も文書裁断サービスの全国組織として、その連携・交流機能を最大限に活用し、サービスの品質向上と、本会更には業界の活性化に結び付けるための活動を展開していきます。

2. 広報宣伝事業

(1) 本会ホームページの改修

今年度は、昨年度に引き続き本会のホームページを更なる集客効果が見込める内容へと改修を行いました。2年目となる今期は、営業内容に特化した「ランディングページ」の新規ページ作成、閲覧率の高まりに伴う「モバイルサイト」の改修、1巡目の会員ブログを活用した「会員企業紹介ページ」の新規作成、会員各位にご協力をいただき人気ページとなった「会員企業によるブログ構築」2巡目の開始、また、本会ホームページと会員各位のホームページを相互リンクすることにより、より権威性を高めるため、「本会オフィシャルバナー」を作成しました。会員各位のご協力のもと上記対策の結果、アクセス数は昨年対比約200%アップ、会員各社の紹介ページビュー数は全体平均で約53%アップすることが出来ました。会員各社がより本会ホームページを活用し、訪れるユーザーがより分かりやすく裁断サービスを利用して頂けるよう内容の充実を図り、裁断サービスの促進並びに会の知名度向上に取り組んで参ります。

【広報委員会開催日】

2020年7月22日 遠鉄百貨店新館会議室②

2020年12月4日 リモート会議

（２）業界紙への情報開示と取材協力

活動広報のために、業界紙などの報道機関に対して、総会や勉強会等の情報開示と取材協力を実施しました。

【掲載記事】

発行物・記事内容	掲載号	発刊元
少年写真出版社 「ごみはどこへいく？ごみゼロ大辞典 2 社会のごみ」	2020年 12月15日 初版発行	少年写真出版社
循環経済新聞 「研修勉強会をオンライン開催」 「紙管理の重要性」テーマに	2021年 2月22日号	日報ビジネス株式会社

3. 環境保護活動の推進・貢献活動の実施**（１）カーボンオフセットの継続実施**

環境に配慮した事業活動を目指し、継続事業としてカーボンオフセットへの取り組みを行いました。

2020年度は 約 216t の CO2 をオフセットしました。

【協カプロジェクト】

- ・森林・林業日本一の町を目指す住田町の間伐プロジェクト
- ・Gangadhar Narsingdas Agrawal Group による風力発電プロジェクト（インド）

（２）文書リサイクルの促進

各種事業を通し、全国会員企業の機密文書裁断サービスの展開により、個人情報・機密事項が記載された文書の情報漏洩を防ぐとともに、紙の再資源化を図りました。今後も事業を適正に推進することで、紙資源のリサイクルを促進し循環型社会の実現に寄与して行きます。